

平成24年度  
一般1期入学試験問題

国語

2月2日(11:10~12:10)

注意事項

1. 問題用紙は、試験監督者の指示があるまで開かないこと。
2. 問題用紙と解答用紙(マークシート)は別になっています。
3. 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。

① 氏名欄

氏名及びフリガナを記入しなさい。

② 受験番号欄

受験番号(数字及び英字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。

③ 試験種別欄

一般1期にマークしなさい。

④ 教科・科目欄

国語にマークしなさい。

4. **I** **II** は必答。**III** **IV** については、これより一題選択して解答すること。
5. 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、**10** と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例)

解答番号	解答欄									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
10	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

6. 問題用紙は、試験終了後持ち帰ること。

全員必答 必ず解答すること。

I 次の文章を読んで、後の問い（問1～7）に答えよ。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から公表することが出来ませんので  
ご了承承願います。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から公表することが出来ませんので  
ご了承承願います。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から公表することが出来ませんので  
ご了承承願います。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から公表することが出来ませんので  
ご了承承願いたします。

(野矢茂樹「他者の声 実在の声」による)

問1 傍線部(ア)～(オ)の漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は **1** ～ **5**。

(ア)

チヨウキヨウ

**1**

- ① 天恵をキヨウジユする
- ② キヨウリヨクを惜しまない
- ③ 不足分をホキヨウする
- ④ 信者のフキヨウ活動を|知る

(イ)

ガンモク

**2**

- ① 力の限りガンバる
- ② ホウガン紙を用いる
- ③ ガンチクのある言葉
- ④ タイガンの火災視する

(ウ)

ボンヨウ

**3**

- ① チュウヨウの徳を説く
- ② 人權をヨウゴする
- ③ 話のヨウテンをおさえる
- ④ 道具のゴヨウに注意する

(エ)

ハアク

**4**

- ① 権力をハジする
- ② 湖面にハモンが広がる
- ③ 険しい山道をトウハする
- ④ リユウハの異なる茶道を学ぶ

(オ)

ソウテイ

**5**

- ① 危険にソウグウする
- ② コウソウのビル群
- ③ 作品のコウソウを練る
- ④ 労働ソウギを繰り返す

問2 空欄 a ～ d に入れる語の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **6**。

- |   |          |          |          |          |
|---|----------|----------|----------|----------|
| ① | a — さて   | b — そのとき | c — では   | d — それでは |
| ② | a — そのとき | b — では   | c — それでは | d — さて   |
| ③ | a — さて   | b — それでは | c — そのとき | d — では   |
| ④ | a — そのとき | b — それでは | c — さて   | d — では   |

問3 傍線部 A 「それは、たんに「教えられた者」としての達成をめざすだけではない」とあるが、「たんに「教えられた者」

としての達成」と言えるものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **7**。

- ① インコが人間の言葉をまねてじょうずに言えるようになる。
- ② 「教えられた者」が未熟なままに「教える者」になる。
- ③ 「教えられた者」が成熟して「教える者」と対等になる。
- ④ 言葉を覚えたインコが他のインコに言葉を発せられるようになる。

問4 傍線部B「たんにアメとムチを与えるだけではなく、なぜいまアメが与えられ、なぜいまムチが与えられるのかもまた、明らかにされていかねばならない」とあるが、そのようにすることの目的は何か。最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は8。

- ① 「教えられた者」を制御し、「教える者」へと成長させる目的。
- ② 「教えられる者」に意味を理解させ、「教える者」の能力も同時にもたせる目的。
- ③ 「教えられる者」に規範を理解させ、秩序ある社会を継承させる目的。
- ④ 「教えられた者」を賞罰で条件付け、従順で常識的な人間にさせる目的。

問5 傍線部C「両者の間にはおそろしく遠い距離がある」とあるが、そう言われる理由として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は9。

- ① インコは意味を知らずにただ「ピー」と言うだけだが、人間の子どもは意味を知って言っているから。
- ② インコは事態を「教えられる者」の観点から捉えているが、人間の子どもは「教える者」の観点から捉えているから。
- ③ インコは教育しても「教える者」にはなり得ないが、人間の子どもには日常の経験によってなり得る可能性があるから。
- ④ インコは自分の行動を評価する観点をもたないが、人間の子どもは自分の行動を評価する観点を持ち得るから。



問6 傍線部D「この多相性の緊張においてこそ、「べし」は姿を現わしてくる」とあるが、どのようなことか。最も適当なもの

のを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は10。

- ① 言葉は物事に対する他者との観点のせめぎ合いの結果決定されるということ。
- ② 複数の観点を持つて物事を検討して言葉にするととき規範が意識されるということ。
- ③ 物事を評価するときに判断基準がなければ評価は成立しないということ
- ④ 教えられる者と教える者の観点が交わるとき社会的な規範が働くということ。

問7 傍線部E「約束の場面においてもまた、観点の二重化が生じている」とあるが、「約束」において何を「観点の二重化」

としているか。最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は11。

- ① 約束する者とされる者という複数の主体が対立し合う観点。
- ② 一人の人物において同時に働いている約束する者とされる者の観点。
- ③ 約束は果たすべきとする者同士が互いに見張り合い評価し合う観点。
- ④ 約束における行動を相互に相手の立場に立って評価する観点。

全員必答 必ず解答すること。

Ⅱ 次の文章を読んで、後の問い(問1～5)に答えよ。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から公表することが出来ませんので  
ご了承承願います。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から公表することが出来ませんので  
ご了承承願います。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から公表することが出来ませんので  
ご了承承願います。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から公表することが出来ませんのでご了承承願いたします。

(宇野重規『〈私〉時代のデモクラシー』による)

問1 傍線部A「なんともいえない気分になります」とあるが、その理由として最も適当なものを、次の①～④のうちから

一つ選べ。解答番号は 12。

- ① 売るためとはいえ、「自分らしさ」という極めてプライベートなことに関わるものを商品化することへの違和感。
- ② 類型化された「自分らしさ」が商品化され、アイテム化され、それを購入することで自己満足していることへの違和感。
- ③ 個々人に「自分らしさ」の確立を呼びかけながら、その根拠を品目として類型化し、商品化していることへの違和感。
- ④ 「自分らしく」なるためにいろいろ試行錯誤するのではなく、物質的なものに依存しようとすることへの違和感。

問2 空欄 X に入る語句として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 13。

- ① 他者が選んだ関係として認識する
- ② 家族の同意にもとづいて生み出していく
- ③ 自分で選んだ関係に置きかえていく
- ④ 自ら解体し、再構築していく

問3 傍線部B「近代」のもう一つの目標は、宗教からの解放でした」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の

①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **14**。

- ① 伝統的な社会の人間関係を支えた宗教の欺瞞性に気づき、〈私〉に絶対性を与えようとしている。
- ② 従来の宗教が人々にとつて全く意味がなくなった今、生きる指針を〈私〉の中に探し続けている。
- ③ 宗教が聖性を失うに従い、その代替となるものとして〈私〉の絶対性を価値の根拠としている。
- ④ 畏れであり指針でもあった「聖なるもの」から人々を解放し、〈私〉に価値の源泉を見い出している。

問4 空欄 Y に入る語句として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **15**。

- ① 自覚的につくっていかなければならないもの
- ② 自明のものとして受けとめていかなければならないもの
- ③ 無意識的につくっていかなければならないもの
- ④ 抑圧的に受けとめていかなければならないもの

問5 傍線部C「同程度には」とあるが、作者が「同程度」に傍点を施した理由として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **16**。

- ① 現代ではアイデンティティの確立のためには、他者を意識せずにはいられず、常に他者と同じ水準を求める現代の特殊な状況を強調するため。

② 特別な存在とは、本来は他者との明確な区別を持つはずだが、互いに皆が他者の独自性も認めるといふ現代の特殊な状況を強調するため。

③ 「オンリーワン」であることは圧迫があるので、他者と同程度でもよいからオンリーワンの存在として承認されたといふ現代の特殊な状況を強調するため。

④ 「個人」や「平等」の実現のためには、それへの抑圧があつた状況が変化し、他人と同程度であることで特別な存在とされる現代の特殊な状況を強調するため。

選択問題 Ⅲ・Ⅳのうち、いずれか一題を選んで解答すること。

Ⅲ 次の文章を読んで、後の問い(問1～5)に答えよ。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から公表することが出来ませんので  
ご了承承願います。



この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から公表することが出来ませんので  
ご了承承願います。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から公表することが出来ませんので  
ご了承承願いたします。

(大岡信『ことばの力』の中の「歳時記について」による)

問1 次の一文は、本文中の空欄 a ～ d のいずれかから抜き出したものである。挿入する箇所として最も適当なものを、次の

①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **17**。

ここでは、かつて和歌の伝統の中で詠嘆とともにあった語も、新たに一つの美感の単位として他の平俗な語と同列に置かれ、いわば顔を洗い直して席についている。

- ① a
- ② b
- ③ c
- ④ d

問2 空欄 X ～ Z に入れる語句の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **18**。

- |   |   |    |   |    |   |    |
|---|---|----|---|----|---|----|
| ① | X | 連歌 | Y | 和歌 | Z | 俳句 |
| ② | X | 俳句 | Y | 連歌 | Z | 和歌 |
| ③ | X | 連歌 | Y | 俳諧 | Z | 俳句 |
| ④ | X | 俳諧 | Y | 連歌 | Z | 和歌 |

問3 傍線部A「そういう感覚」とあるが、どのような感覚をさしているか。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は19。

- ① 個々の生活現象の価値判断を神のまなざしを中心にしておこなう感覚。
- ② 個別の事物や事象が複合された状態を未発達なものとしてとらえる感覚。
- ③ 個別の事物や事象を時の流れの中に置いて時の流れとともにとらえる感覚。
- ④ 衰退するものとして事物や事象を見つめることで哀感を得て詠嘆する感覚。

問4 傍線部B「屋上屋を架する必要はない」とあるが、「屋上屋を架する」と最も近い意味を持つ語句を、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は20。

- ① 無用の長物
- ② ありがたいわく
- ③ 転ばぬ先の杖
- ④ 杞憂きゆう

問5 傍線部C「歳時記の面白さ」とあるが、筆者の考える「歳時記の面白さ」としては適当でないものを、次の①～④のう

ちから一つ選べ。解答番号は **21**。

- ① 人間生活を自然との関わりにおいて見つめる上で有効であると思われる。
- ② 歳時記を読みくらべると編者の個性や句を評価する力の程度が感じ取れる。
- ③ 読み方の片寄りなどまったく気かけずに自分の関心のままに読むことができる。
- ④ 昔の方言による歳時記と現代の歳時記とを学問的成果に基づき読みくらべられる。

## 選択問題

### Ⅲ・Ⅳ

のうち、いずれか一題を選んで解答すること。

### Ⅳ

次の文章は江戸時代の国学者本居宣長の随筆「玉勝間」の一節である。これを読んで、後の問い（問1～5）に答えよ。

おのれいじしへふみ古典を説とくに、師の説とたがへること多く、師の説のわるき事あるをば（注1）わきまへいふこともおほかるを、いとあるまじきことと思ふ人おほかめれど、これすなはちわが師の心にて、つねにをしへられしは、後によき考への出来たらんには、かならずしも師の説にたがふとて、（注2）なはばかりそとなむ、教へられし。こはいとたふときをしへにて、わが師の、よにすぐれ給へる一つ也。大かた古をかむかふる事、さらにひとり二人の力もて、ことごとくあきらめつくすべくもあらず。又よき人の説ならんからに、多くの中には、（注3）誤あやまりもなどかなからむ、必ずわるきこともまじらではえあらず。そのおのが心には、今はいにしへのころことごとく明らか也。これをおきては、あるべくもあらずと、思ひ定めたることも、おもひの外に、又人のことなるよきかむかへもいでくるわざ也。あまたの手を経るまにまに、（注4）さきさきの考のうへを、なほよく考へきはむるからに、つぎつぎにくはしくなりもてゆくわざなれば、師の説なりとて、かならずなづみ守るべきにもあらず。よきあしきをいはず、ひたぶるにふるきをまもるは、学問の道には、いふかひなきわざ也。

（注） 1 わきまへいふ——良し悪しを区別して言う。

2 なはばかりそ——遠慮をするな。

3 よき人——学問的にすぐれている人物

4 なづみ守る——こたわって固守する

問1 傍線部A「いとあるまじきことと思ふ人おほかめれど」とあるが、何に対して「あるまじきこと」としているか。最も適

当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **22**。

- ① 師と門弟の学説にくいちがいが生じて争いになること。
- ② 門弟が師の学説に誤りを見出して批判を加えること。
- ③ 師が門弟の考えをかすめ取って自分の学説として説くこと。
- ④ 門弟が師の学説を固守するあまり師の誤りを隠蔽すること。

問2 傍線部B「給へる」とあるが、「給へる」の文法的な説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は **23**。

- ① 尊敬の補助動詞「給へ」＋自発の助動詞「る」
- ② 謙讓の補助動詞「給へ」＋可能の助動詞「る」
- ③ 尊敬の補助動詞「給へ」＋完了の助動詞「る」
- ④ 謙讓の補助動詞「給へ」＋尊敬の助動詞「る」

問3 傍線部C「これをおきてはあるべくもあらず」とあるが、その現代語訳として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **24**。

- ① これをさし置いては他によいことを考えられないだろう。
- ② これをさし置いては他によい考えがあらうはずがない。
- ③ これをさし置いては他によいことを考えられる人はいないだろう。
- ④ これをさし置いては他によいことを考える人がいようか、いるはずがない。

問4 傍線部D「師の説なりとてかならずなづみ守るべきにもあらず」とあるが、その主張に対応する筆者の考えとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **25**。

- ① 学問の探究では師ひとりの力に限界があり、門弟の協力が必要だという考え。
- ② 学問のためには批判が重要であり、師の誤りも容認すべきではないという考え。
- ③ 師から受け継いだ研究を成し遂げるには師への信頼が不可欠だという考え。
- ④ 研究を深めるには自己の考えを絶対視しない柔軟な態度が大切だという考え。



問5 本居宣長に関する説明としては適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **26**。

- ① 国学の樹立に努めた賀茂真淵の門人となって国学研究を深化させた。
- ② 『古事記』研究に力を尽くし、三十余年の年月をかけて『古事記伝』を完成した。
- ③ 『源氏物語玉の小櫛』を著し、物語の本質を「もののはれ」にあるとした。
- ④ 歌人としてもすぐれ、「ますらをぶり」という万葉調の男性的な歌風を提唱した。

